

KATO CORPORATION

2017.10.5 ver

CSR REPORT

2017



あす
未来の地球に

持続可能な環境を創る企業



加藤商事ウェブサイトはコチラ！
<http://katosyoji.tokyo>

KATO
加藤商事株式会社



未来の地球に 持続可能な 環境を創る企業

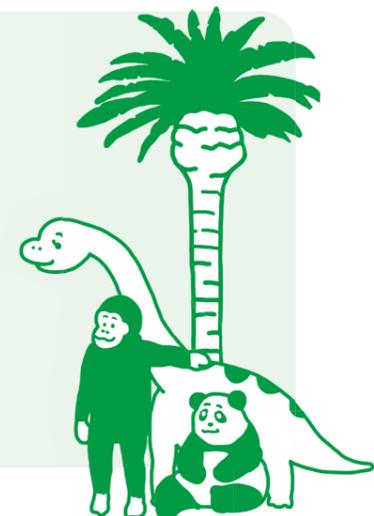
加藤商事は「次世代に生活する快適さと持続性の調和した環境を残すことが、今存在する当社の責務である」と考え、経営理念を「未来の地球に持続可能な環境を創る企業」とし、社員の思いを集結し全力で事業に取り組んでまいります。

会社概要

会社名	加藤商事株式会社
代表者	代表取締役 加藤 宣行
事業内容	環境コンサルティング／容器包装プラスチックリサイクル業務／一般廃棄物収集運搬業務 産業廃棄物収集運搬業務／総合建物管理業務／一般土木、上下水道工事
資本金	4,050万円
設立	1960年4月
従業員	140名(2017年6月現在)
事業所	本社：東京都東村山市恩多町1丁目12番地3 赤坂営業所／東大和営業所／町田営業所／八王子営業所
主な許認可	産業廃棄物収集運搬業(東京都/埼玉県/神奈川県/千葉県/福島県/山梨県/群馬県(順不同)) 特別管理産業廃棄物収集運搬業(東京都/埼玉県/神奈川県/千葉県) 産業廃棄物処分業許可(東京都(中間処理)) 廃棄エキスパート(東京都(収集運搬)) 東京都一般建設業((般-25)第101214号(土木/管/とび・土木/ほ装/水道施設工/電気)) ISO14001
情報公開	さんばい情報ネット(http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/)

目次

02 … 会社概要・沿革	13 … CSRの重点課題・重要課題
03 … 目次・編集方針	14 … 人財
04 … 事業紹介	16 … 安全衛生
06 … トップメッセージ	18 … CS(顧客満足)
08 … 特集① PCBの期限内処理に向けて	19 … 環境
10 … 特集② 加藤商事の新たな挑戦	20 … 地域貢献
12 … トピックス	22 … エネルギーデータ

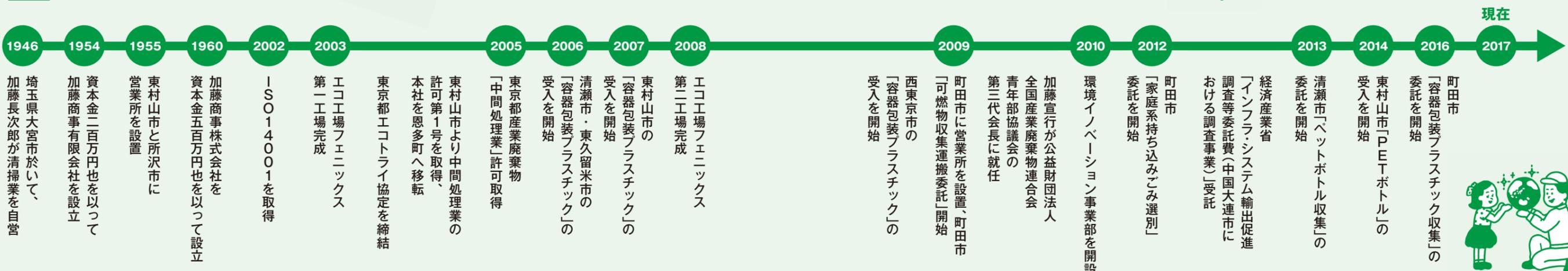


編集方針

本報告書は、加藤商事におけるCSR(Corporate Social Responsibility)の基本的な考え方と取り組み・実績についての情報を開示し、ステークホルダーとの関係を大切にしながら、経営の改善・向上を目的とするものです。重点課題を「人財」「安全衛生」「CS(顧客満足)」「環境」「地域貢献」の5つとし、それぞれの活動を紹介しています。

対象期間	2016年度(2016年4月～2017年3月)
対象範囲	加藤商事株式会社 本社・営業所全体
参考としたガイドラインなど	・GRI【サステナビリティレポートガイドライン】第4版 ・環境省「環境報告ガイドライン」(2012年版) ・ISO26000「社会的責任に関する手引き」
発行日	2017年8月

沿革





事業紹介 創業以来70年、積み重ねた実績と信頼



市民の生活を支える 収集・運搬事業



東村山市、東大和市、清瀬市、町田市のご家庭から排出される一般廃棄物の収集運搬を行っています。
高齢者等の安否確認を行う「みまもり回収・ふれあい回収」に、地元自治体や事業協同組合とともに取り組んでいます。また、事業者から排出される産業廃棄物やPCB廃棄物などの特別管理産業廃棄物の運搬も行っております。

主な業務内容

- 一般廃棄物収集運搬
- 産業廃棄物収集運搬
- 特別管理産業廃棄物収集運搬

選別技術でリサイクルに貢献 資源再生事業



東村山市、東久留米市、西東京市、清瀬市から、容器包装プラスチックの中間処理を受託しています。
東村山市、清瀬市では、プラスチックの同時回収を行っており、当社工場にて容器包装プラスチックとペットボトルの選別を行っています。
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会が定期的実施するペールの品質検査で、10年連続で総合評価Aランクを取得する高い選別技術を有しています。

主な業務内容

- 容器包装プラスチック及びペットボトルの中間処理

※ 容器包装プラスチックとは商品が入っていた容器や商品を包装していたプラスチックをいいます。識別の目安としてプラマークがついています。



私たちは1946年の創業以来、事業を通じて“衛生的な環境”を提供し地域社会に貢献してまいりました。現在では、「未来の地球に持続可能な環境を創る企業」という経営理念の元、地球温暖化などの諸問題の解決を目指して事業範囲を拡大させています。
次の世代に“快適さ”と“持続性”の調和のとれた環境を残すため、4つの事業を展開しています。

専門技術で衛生的な環境を提供 環境衛生保全事業



ビルや店舗の衛生環境を守るため、定期清掃やメンテナンスサービスを提供しています。飲食店のグリストラップや、大型商業ビルの排水・貯水槽の清掃など、専門技術を持った社員が迅速に対応します。
また、LEDの設置工事も行っており、大手自動車製造販売業者、産業廃棄物処理業者、金融機関など、多くの施行実績がございます。

主な業務内容

- ビルメンテナンス
- グリストラップ清掃
- LED照明工事 他

環境課題を解決に導く 環境コンサルティング事業

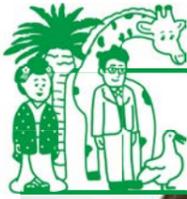


省エネ商材のご提案では、エネルギー管理士の資格を持った社員を中心に、お客様のご事情やご要望に合わせた、最適なプランを提案します。
PCB廃棄物の届出書類作成支援や、PCB非含有製品の仕分け、収集運搬など幅広いサービスを提供しています。また、廃棄物関連の調査業務も行っており、官公庁や自治体からの受注実績がございます。

主な業務内容

- 省エネコンサルティング
- PCB廃棄物コンサルティング
- 廃棄物関連調査 他





トップメッセージ



私たちは、よりよい未来を創る。
そのために“今”何をすべきかを考え、
それに全力で取り組む。

代表取締役 加藤 宣行

CSR活動について、今考えること

CSR活動は、継続的に行うことが大切です。また、その取り組み内容については、常に改善が求められます。そのため私たちは、ステークホルダーの「当社に対するご期待」に常に耳を傾ける姿勢を持ち続けなければならないと考えています。

ステークホルダーとのコミュニケーションを円滑に行うためには、相手が求める情報をきちんとお伝えすることが必要となります。

CSR活動に限らず、弊社の考え方や取組をお伝えるため、よいことはより積極的にアピールし、また弊社にとって都合の悪い情報に関しても、隠すのではなく適正な方法でお伝えしていくべきだと強く思っています。「お客様に加藤商事の取り組みは伝わっているのか」、「取引先には当社の方針をお伝えしているか」、「社員に対して自社の活動情報を発信しているか」、など再度自問し、不足している部分については改善していきたいと考えています。

その上で、ステークホルダーの方々がお持ちの情報や当社への期待についてお聞かせいただき、当社の活動に取り入れていきたいと思っています。現状、情報や意見のキャッチボールの不足が当社の課題と感じています。いろいろな意見を取り入れ、柔軟性を持つことのできる企業が強い企業だと思っています。CSR報告書に全てを記載できているわけではありませんが、当社の考えや取組を知っていただき、コミュニケーションのきっかけとなればとの思いから作成しています。

社員の働き方、働きやすい職場について考える

就職をしてから定年となるまでに、社員はいろいろなライフ・イベントを迎えます。結婚・出産/子育て・親の介護など、イベントごとに「仕事」と「家庭」の両立に少なからず悩むことになるかと思えます。結果、やむを得ず仕事を辞めるという選択を選ぶことになるかもしれません。

私は、せっかくご縁があって当社で働いていただいている社員が、まだ働きたいのに辞めなければならないという状況は、とても残念なことだと感じています。

会社側が一步步み寄ることで、働き続けることができるならば、それは会社として対応を検討すべきだと考えます。

また、当社では近年障がい者雇用に積極的に取り組んでいます。一定期間の研修後、社員として採用し、他の社員と同じ給料体系で働いてもらっています。現在、5名の障がい者を雇用しており、今後もこの取り組みは続けていく予定です。

社員一人ひとり事情が異なるので、全て希望通りという訳にはいきませんが、就業規則の見直しや、福利厚生充実などにより、意欲のある社員が「働き続けられる、活躍できる環境」を提供していきたいと考えています。昨今人手不足が大きく取り上げられていますが、当社も例外ではなく、作業員の募集をかけてもなかなか人が集まらない状況があります。

一方、現在働いている社員の高齢化も進んでおり、働きやすく魅力のある職場環境を整え、それを発信していく必要性が高まっていると感じています。

ここ数年、夏場の気温が高く、収集運搬やエコ工場での作業がますます厳しくなっています。当社では熱中症対策として、ウェットタオルを支給し、水分を適宜補給することを勧めています。

また、夜間作業が多い社員に対しては、夜間作業手当を検討し、体調管理をしっかりと行えるよう管理・指導をしています。

地域住民とのコミュニケーション

当社のCSR活動の中で特に注力しているのが、「地域貢献」です。その取り組みの一つとして、「ライト・イット・アップ・ブルー」という自閉症について知ってもらう活動に参加しました。キッカケは、3年前の東村山リサイクルフェアで地域住民の方から相談を受けたことでした。

自閉症の子供を持つ親御さんは、そのことをオープンにしないことが多々あるようです。「自閉症だから」という世間に認識を変えるためにも、まずは自閉症がどういった病気なのかを知ってもらうことが大切と考え、取り組みを始められたそうです。

当社では、自社のごみ収集車にステッカーを貼って走っています。小さな活動ですが、少しでも普及するよう、今後も取り組んでまいります。

また、現在当社が提供しているサービスは、市民の皆さまにとって最善のサービスとなっているのか、もっと生活に寄り添った収集の方法はないのか、常に考え続けていきたいと考えています。

お年寄りの方や、認知症などの病気・障害を抱えた方への接し方や、当社にできることはこれ以上ないのか常に自問しています。

今後、行政や他の組合員との意見交換会の中で、議論を深めていきたいと考えています。

加藤商事の今後の取り組み

一つ目は、エコ工場の選別能力・技術を向上させたいと考えています。

東村山市では、容器包装プラスチックとペットボトルを同じ車両で収集しており、当社の工場で選別しています。2017年度からは東久留米市でも同時回収が実施されることから、選別能力を高め求められる品質をクリアできるようにエコ工場の改修工事を進めていきます。

二つ目は、既存のサービス強化に加え、環境問題を発端とする課題を抽出し、それを解決できるような新しいビジネスを探し出すことです。PCBの選別調査を始め、IoTや資源効率など業界をリードするビジネスモデルの構築を目指し、新たな事業の検討を始めたところです。

日本PCB全量廃棄促進協会(JPTA)の発足

九州の学校でPCB含有の有無について対象機器を全数調査したにもかかわらず、PCB含有機器を取り残してしまい、それが破裂しPCBが漏れいってしまうという事故が起こりました。

これは、調査にあたった作業員がPCB含有機器についての知識が不足し、また調査方法が確立していなかったためだと考えられます。

現場で判断できる人材が不足している、調査手法が統一されていないという問題を解決するため、当社と志を同じくする企業とともに日本PCB全量廃棄促進協会(JPTA)を発足させました。参加を希望する企業も増え、関東のみならずそのネットワークは全国に広がりつつあります。

次年度のCSR報告書では、このような加藤商事の新たな取り組みの成果を皆様にご報告できるよう、全力で取り組んでまいります。



特集① PCBの期限内処理に向けて

加藤商事では、高濃度PCB廃棄物の期限内処理の早期達成、ならびに保管事業者の処理コスト削減を目的として、PCB含有安定器等の分別調査を行っております。



PCB営業担当
半田 拓也

事業を本格化させてから現在に至るまで、分別調査個数は5万個を超え、昨年度は1年間で3万個弱の分別調査を行いました。昨年度は2016年4月～9月の期間で、東京都内の保管事業者向けに「特別登録・調整協力割引制度」が実施されたため、例年より多くの調査を依頼いただきました。

分別調査後の行政窓口との折衝や、JESCO荷姿登録、特措法届出の作成サポートもさせていただいており、煩雑な管理資料の整理に関しても、お客様から「わかりやすく情報が整理され、今後の管理もしやすくなった」と好評いただいております。

①分別調査数量

累計	55971個	118911.892kg
H28年度	28402個	71451.98kg



②これまでの調査実績(高濃度、非PCBのみ)

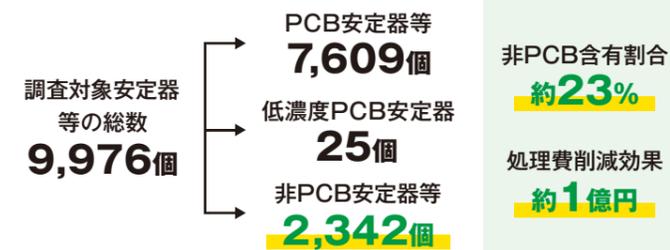
No.	保管事業者	所在地	個数				重量				処理費
			全保管数(個)	PCB(個)	非PCB(個)	非PCB含有率(%)	全保管量(kg)	PCB(kg)(※3)	非PCB(kg)(※4)	非PCB含有率(%)	
1	金融機関	東京都	6,153	6,136	17	0%	-	11,494	-	-	-
2	金融機関	大阪府	3,611	3,433	178	5%	-	9,740	-	-	-
3	私立教育機関	東京都	533	374	159	30%	1,205	1,025	179	15%	¥5,419,613
4	金融機関	東京都	249	219	30	12%	673	633	40	6%	¥1,210,205
5	製造メーカー	東京都	223	145	78	35%	355	288	67	19%	¥2,017,310
6	金融機関	東京都	1,627	1,084	543	33%	7,322	5,891	1,431	20%	¥43,285,838
7	金融機関	東京都	118	116	2	2%	505	503	3	1%	¥82,555
8	地方公共団体	東京都	2,475	1,241	1,234	50%	4,486	2,935	1,551	35%	¥46,907,078
9	地方公共団体	東京都	5,927	4,582	1,345	23%	16,959	16,047	912	5%	¥27,589,162
10	地方公共団体	東京都	753	415	338	45%	1,760	1,372	388	22%	¥11,729,189
11	地方公共団体	東京都	2,462	1,872	590	24%	6,238	4,971	1,267	20%	¥38,310,149
12	地方公共団体	東京都	1,444	1,366	78	5%	3,316	3,247	69	2%	¥2,086,560
13	地方公共団体	東京都	849	610	239	28%	1,268	1,147	121	10%	¥3,673,555
14	地方公共団体	東京都	1,750	1,355	395	23%	7,008	6,097	911	13%	¥27,551,059
15	官公庁	東京都	126	89	37	29%	281	247	34	12%	¥1,031,396
16	公社	東京都	176	163	13	7%	619	603	16	3%	¥483,054
17	公社	東京都	688	499	189	27%	2,153	1,925	228	11%	¥6,898,500
18	官公庁	東京都	155	119	36	23%	320	220	101	31%	¥3,040,934
19	医療機関	東京都	3,004	2,177	827	28%	3,105	2,793	312	10%	¥9,419,760
20	放送事業者	東京都	224	127	97	43%	716	437	279	39%	¥8,448,451
21	生命保険会社	東日本エリア(17ヵ所)	9,926	7,609	2,317	23%	26,676	23,245	3,431	13%	¥103,743,037
22	生命保険会社	宮城県	973	867	106	11%	6,249	5,509	740	12%	¥22,376,693
23	地方公共団体	東京都	224	105	119	53%	333	147	186	56%	¥5,624,338
24	医薬品製造・販売	東京都	41	28	13	32%	109	85	24	22%	¥711,547
25	官公庁	東京都	813	759	54	7%	2,484	2,363	122	5%	¥3,678,696
26	官公庁	東京都	6,870	4,737	2,133	31%	16,083	12,629	3,454	22%	¥104,652,475
27	地方公共団体	東京都	3,188	2,565	623	20%	8,425	6,497	1,928	23%	¥58,322,074
合計			54,582	42,792	11,790	24%	118,648	122,081	17,801	17%	¥479,971,155

※1 安定器等とは安定器・照明用コンデンサを指す
 ※2 処理費削減効果とは、非PCB安定器類の重量にJESCO処理料金(30,240円/kg(平成28年10月1日現在))をかけたもの
 ※3 保管容器の重量を含む ※4 保管容器の重量を含まない ※5 低濃度PCB廃棄物は含まない

③主な調査事例



【保険会社】某生命保険会社



東日本エリア17ヵ所の保管事業場に対し、分別調査を実施しました。保管数量が約10,000個あったため、非PCBが発見されたことにより約1億円のコストダウンとなりました。

低濃度PCB廃棄物収集運搬事業の開始

2016年度より、低濃度PCB廃棄物収集運搬事業を本格的に開始いたしました。トランス・コンデンサ類の重量物搬出作業から低濃度PCB廃棄物収集運搬、処理まで一括でサポートさせていただきます。

廃棄物処理業界のネットワークを駆使し、処理の時期や価格交渉など、ご担当者様だけでは対応しきれない部分も、当社独自のルートで最適な処理計画を立案いたします。

また、東京都を中心として、埼玉県、神奈川県、千葉県、群馬県の特別管理産業廃棄物収集運搬業許可を取得しており、小ロットでの運搬などもご相談いただいております。

豊富な経験と専門知識をもって、作業・費用の両面から効率的なご提案をさせていただきます。



特別管理産業廃棄物収集運搬許可車両



2t平ボディ



3tパン車



4tユニック車

★ 産廃情報ネットで情報公開中 <http://www.sanpainet.or.jp/>

使用中のPCB含有機器の調査



高濃度PCB廃棄物の期限内での全廃を確実にものにするため、使用中のPCB含有機器の調査を進めています。

平成28年8月の特措法改正に伴い、使用中の高濃度PCB使用電気工作物についても、電気事業法の「主任技術者制度の解釈及び運用」が改正され、電気主任技術者等が毎年度高濃度PCB使用電気工作物であるかを確認することが義務付けられました。

今後、処分期限が近付くにつれ、今後一層の規制や義務付けの強化が予想されます。



特集② 加藤商事の新たな挑戦

当社は廃棄物を中心とした事業を行い、現在58期目を迎えております。近年ではLED照明や太陽光・エネルギー管理システムなどの省エネ・創エネ事業や、PCB廃棄物のコンサルティング事業などを展開してまいりました。また、当社エコ工場では容器包装プラスチックとペットボトルの同時回収に対応するための設備を導入し、収集の効率化を図りエネルギー削減を実現させるなど業界をリードする取り組みを行っています。廃棄物業界を取り巻く環境も刻々と変化しており、その変化に対応できる事業を創出すべく、新たな挑戦を行っています。

新たな挑戦① PCB全量廃棄に向けた取り組み

加藤商事ではPCBを取り巻く社会的背景を受け、平成26年10月よりPCBコンサルティング事業を開始しております。廃安定器の分別調査を中心に事業を展開し、官公庁や自治体、民間企業など幅広い事業者を対象に、約5億円のコスト削減を実現しました。昨今では、特別管理産業廃棄物収集運搬業許可も取得し、低濃度PCB含有機器等に関するコンサルティングにも注力しています。

法で定められたPCBの処理期限が迫る中、平成29年5月には、一般社団法人 日本PCB全量廃棄促進協会（以下、JPTAという）が設立、当社も協会員として活動に参加し、“PCBの廃棄処理促進と期限内全廃”を使命として活動を始めています。

現在JPTAの主な活動として、日本全国で使用されているPCB含有機器の早期発見及び使用中止、処理促進のための「全数調査」をすすめています。協会のネットワークと培ったノウハウを活かし、PCBに関するあらゆる問題をワンストップで解決していきます。

※全数調査とは、昭和52年（1977年）3月までに建築・改修されたビルや工場を対象として、敷地内すべての電気工作物・機器・照明器具等にPCBが含有されているか否かを調査するものです。

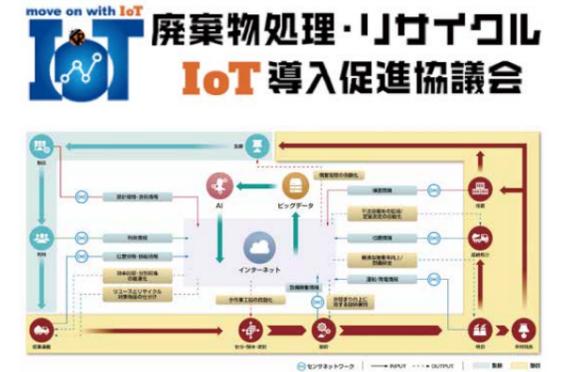
日本PCB全量廃棄促進協会の事業内容

Service 1	Service 2	Service 3
照明器具の全数調査 敷地内にPCB含有の疑いがある照明器具は残っていませんか？ 使用中も含めPCBは定められた期限までに必ず処分しなければなりません。	安定器等のPCB分別調査及びJESCO輸入荷役登録 お客様の保管状況に合わせて、搬入までのベストな解決策をサポート。廃安定器の分別調査のエキスパートが、確実・安全・スピーディーに対応します。	低濃度PCB廃棄物の処理提案 低濃度PCB廃棄物を、時間と労力のムダなく最適に処理。お客様の状況に合わせて、ベストな処理計画をご提案いたします。

参照:「一般社団法人日本PCB全量廃棄促進協会」<http://www.pcb.or.jp/>

新たな挑戦② IoTを活用した廃棄物収集運搬・処理の効率

加藤商事は、高齢化社会への対策や業務効率化の一つの可能性としてIoT(Internet of Things モノのインターネット)の活用を検討しています。「廃棄物処理・リサイクルIoT導入促進協議会」の会員となり、電機メーカー・OA機器メーカー・プラントメーカー・廃棄物業者と学識者で構成されるワーキンググループに参加しています。IoTの可能性と実用化を目指し、国等への政策提言も含めた活動を予定しています。災害時の対応やロジステック高度化による低炭素化、また、それらに付随する新規事業の創出等を目指し、我々業界に波及できる可能性を検討していきます。



参照:「廃棄物処理・リサイクルIoT導入促進協議会」
<http://iot-recycle.com/>

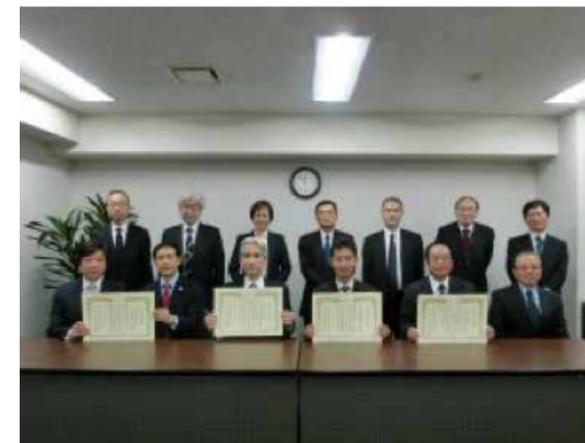
新たな挑戦③ 資源効率ビジネス ~動脈産業と静脈産業のマッチング~

2016年G7富山環境大臣会合において「富山フレームワーク」が採択され、その中で、各国による野心的な行動として、3つの目標が記載されました。一つ目が資源効率性・3Rのための主導的な国内政策、二つ目がグローバルな資源効率性・3Rの促進、三つ目が着実かつ透明性のあるフォローアップとされており、欧州が先行している資源効率や循環経済について、国内でもその対応への検討が始まりました。

このような動きのなか、当社としても既存の事業のみならず、より資源効率や循環経済に寄与できるような事業を模索しようと、廃プラスチックの再生材活用促進事業を検討しております。これは、メーカーとリサイクル業者やコンパウンダー業者を結びつけ、再生材料の利用促進を目指すものです。

その第一歩として、現状のニーズ(市場)を把握し事業の可能性を検討するため、公益財団法人産業廃棄物処理振興財団の助成事業(起業化調査)を活用した調査を予定しています。

廃プラスチックの資源効率は当社にとって重要な課題と位置づけており、資源効率性の向上と3Rの促進を目指し、製品メーカーと我々廃棄物業界の発展につながるビジネスを模索してまいります。



助成事業交付証授与式の様子



助成事業交付証



トピックス

ごみ収集は男性の職場というイメージが強いですが加藤商事には女性の作業員もいます。働いてみて感じたこと、女性ならではの悩みなどについて女性作業員 金子紗矢香さんインタビューを行いました。

インタビュー

収集運搬課
金子 紗矢香

加藤商事に入社し、「ごみの収集」をして感じたこと

はじめは決まった業種ではなく時給や働く時間帯、休日など自分の求めている条件をもとに探し、条件の合うものが『ごみの収集運搬』の作業員を募集していた加藤商事でした。

ごみ収集は世間からのイメージが良くないと思っていましたが、住民の方や子どもから声をかけられることも多く驚きました。住民の方々と関わるが多いため、作業をする上で心がけていることが3つあります。1つ目は住民の方や現場の方への『挨拶』、2つ目は挨拶の際に『笑顔』でいること、3つ目は『丁寧な作業で安全第一』です。男性ほど重いものも持てないこともありますが、早い＝仕事出来るではないことを先輩に教えていただきました。



要望・目標

女性専用の更衣室やトイレは本社にしかない為、各営業所にも設置してほしいです。また7月よりごみの収集運搬から資源の粗大ごみ回収に異動となったので、今後個人宅に取りに行くことが多くなります。対面での会話が増えるので、現在心がけている3つに加え、より住民の方とコミュニケーションをとることで、気持ちよく回収が出来るように頑張りたいです。住民の方、お一人お一人と信頼関係を築いていくことが今後の私の目標です。

メッセージ

この業界を志望している女性へ
大変な仕事でもありますが、やりがいのある仕事です！
体を動かすことが好きな人であれば楽しいので、一緒に頑張りましょう!!!

同僚社員へのインタビュー

初め

女性にごみを触らせる事が気になったため、まずはペットボトル、プラスチック、資源ごみを経験してもらい、ごみに対する免疫を付けてから適性をみて可燃ごみに配属しました。(班長：谷岡)

金子さんとは

「住民の方への接し方が冷たい気がする」と言われ初心に戻り、以前より笑顔を意識するようになりました。女性目線での気づきでマンネリ化していることに警鐘を鳴らしてくれる存在です。(谷岡)

積極的に免許を取りに行くなどやる気を感じます。質実剛健な人です。子供やご高齢者の方からもよく声をかけられています。対応も良く、細やかな気遣いもできます。(丸山)



期待・メッセージ

ごみ収集は世間からのイメージが悪いと思われがちです。なので、女性が活躍し働きやすい環境だというイメージに改善してくれることを期待しています。(谷岡)

女性も働きやすい職業にしていくためのパイオニアになれるよう、気づきや意見を女性目線で発言してもらいたいです。また、住民の方を第一に考え、どのようなサービスが求められているのかを追求していきましょう。(丸山)



CSRの重点課題・重要課題

加藤商事では、ステークホルダーの期待と関心や自社にとって重要度が高い『5つのテーマ』をCSR活動の軸として取り組んでおります。日々の事業活動を通じ、社会や環境にかかわる課題に真摯に向き合い、新しい社会価値の創造に取り組みながら、すべてのステークホルダーの皆さまへの責任を果たしてまいります。



人財
環境問題に立ち向かう知識・技術を有する人財の育成



安全衛生
社員の安全意識向上による事故・災害の撲滅



CS(顧客満足)
お客様視点に立った質の高いサービスの提供



環境
未来の地球に持続可能な環境を創る企業



地域貢献
地域に根差したCSR活動

CSR活動の自己評価と計画

CSR活動を効果的に推進するため、各テーマごとに取り組み計画を定めています。継続的な活動とするため、PDCAを回しながら、取り組みを進めて参ります。今年度の活動に対する評価と次年度の取り組み計画を記載しております。詳細については、各テーマの掲載ページをご覧ください。

テーマ	2016年度自己課題	評価
人財	■ 従業員育成の教育・訓練	○
	■ 障がい者の積極的な雇用の維持	◎
安全衛生	■ 従業員の労働環境改善	○
	■ 安全対策の実施(教育・巡視等)	○
CS(顧客満足)	■ 積極的な商品・サービス等の情報発信	○
	■ アフターフォローの検討・充実	△
環境	■ 環境ビジネスの展開	○
	■ 環境負荷(電気・軽油)の低減	○
地域貢献	■ 地域住民・児童を対象として啓発・教育活動	○
	■ BCP(事業継続計画)の運用	△

テーマ	2017年度課題計画
人財	■ 従業員育成の教育・訓練 ・社内外研修会への参加機会の創出
	■ 障がい者の積極的な雇用の維持
安全衛生	■ 従業員の労働環境改善 ・熱中症対策の実施 ・健康診断の実施 ・有給休暇取得の促進
	■ 安全対策の実施(教育・巡視等)※
CS	■ 積極的な商品・サービス等の情報発信
	■ アフターフォローの検討・充実
環境	■ 環境ビジネスの展開
	■ 環境負荷(電気・軽油)の低減
地域貢献	■ 地域住民・児童を対象として啓発・教育活動 ・地元イベントへの参加 ・環境教育・工場見学の実施
	■ 安全で衛生的な市民生活の確保 ・BCP(事業継続計画)の運用





人財 環境問題に立ち向かう知識・技術を有する人財の育成

加藤商事では、『どんな人でも働きやすい職場づくり』のためにさまざまな活動を行っています。中でも、「障がい者雇用」、「ワークライフバランスの推進」、「社内外研修の参加機会創出」の3点に注力し、全ての社員にとって働きやすく、また、残業の少ない職場作りを目指しています。

障がい者雇用

エコ工場フェニックスでは社会福祉法人東京コロニー様と連携し、平成21年度から障がい者雇用を積極的に進めております。現在、精神障害の方4名、身体障害の方1名、合計5名の方がエコ工場内で作業にあたり、活躍しています。

障がい者の方が働きやすい環境づくりのため、入社前に1週間程度の研修期間を設け、作業内容の確認や他の作業員とコミュニケーションが取りやすいよう工夫をしています。

また、障がい者理解を深め職場定着につなげるため、障がい者サポーター養成講座に参加しています。社内の支援体制から障害特性を考えた実務支援まで、障がい者の方が日常的に働く上での必要となる支援の方法を学んでいます。



職場内障害者サポーター事業HP: <https://www.shougaisya-support.jp/>



一般事業主行動計画

当社では、一般事業主計画を定め、平成23年4月から平成26年3月までを第1計画期間、平成26年4月から平成31年3月までを第2計画期間として取り組みを進めています。

社員が仕事と子育てを両立することができるような働きやすい職場環境を作るため、第2計画期間はワークライフバランスの目標を掲げています。

すべての社員がその能力を十分に発揮できるよう、目標の着実な実現に向けて取り組みを進めて参ります。

ワーク・ライフバランスの推進

取り組み内容

- ① 所定労働を削減するため、毎週水曜日のNO残業DAYを推進
- ② 年次有給休暇の取得促進のための措置を講じ、有給休暇の取得数を増やす呼びかけ



今後の展開

- ① より多くの人が休みを取得できるようにする
- ② 1人1人の作業の負担を減らすため、適正な人財数を確保する

外部機関を活用した社員教育

加藤商事では、一般社団法人東京都産業廃棄物協会とアデコ株式会社が、東京しごと財団から受託・運営している『団体課題別人材力支援事業』を活用し、社員教育を行っています。研修内容は、①営業業務スキルアップ研修、②コミュニケーション講座、③モチベーションアップ講座、④メンタル不調予防講座、⑤マネジメント講座、⑥企業横断ワークショップなど様々です。

社員一人ひとりが明確なキャリアビジョンを描けるよう、それぞれのステージに応じた教育を受ける機会を作っていきたいと考えています。

管理部 課長 森田憲和

2010年から行っている新卒採用を積極的に行い、新たな人財の確保に努めています。採用した人に長く働いてもらうために、定期的に外部の研修や社内イベントに参加する機会を作り、常に新しい刺激を与えるようにしています。

今後は3つの取り組みに注力していきたいと考えています。1つ目が人財の確保です。人手不足と言われている中で難しい面もありますが、人によって成り立っている会社なので引き続き力を入れていきたいと思えます。

2つ目は、1人1人の作業効率を上げることです。これには経験はもちろん、知識やスキルなどが必要になります。社内外の研修を利用するなど、一人ひとりが成長できるような支援を行っていきたく考えています。

3つ目が、マニュアルや就業規則をブラッシュアップすることです。働き方が多様化しつつある現状に合わせて、社員が安心して働ける環境を整えていく予定です。



作業員の声(入社4年目)

～加藤商事で働いてみて～

とても働きやすい職場だと思っています。もちろん、夏の暑さ、冬の寒さ、工場内の匂いは慣れるまで大変でした。しかし、加藤商事では上司の方とも気兼ねなくコミュニケーションを取ることができ、業務の相談もしやすいので仕事に対するモチベーションもあがります。また、仕事とプライベートをきちんと分けられるので自分の趣味もしっかり楽しめるようになりました。今後も周りの作業員の方と協力しあいながら作業ができたらと思います。

どんな職場でも、楽しく業務ができるかが大切です。不安なことはすぐに相談できる環境は障がい者であっても健常者であっても変わらないと思います。自分の体調管理をしっかり行いながら健康的に仕事をするのが長く勤務する秘訣だと思います。



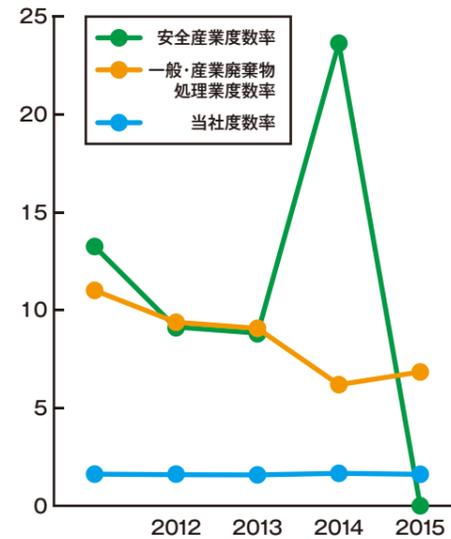


安全衛生 社員の安全意識向上による事故・災害の撲滅

2016年度は死傷者数4件。無災害連続を達成することができず残念な結果となりました。4件の内2件は、通勤災害(自転車/バイク)であり、運転マナー向上も事業所において取り組んでいかなければならない事項となり、次年度以降の課題とします。焦り/慣れ/おごりなどが要因の作業軽視により発生する災害を未然に防ぐため、継続的な職場巡視を行い、危険の先取り行動を行っていきます。

また、業務拡大に伴い、今まで運搬実績のなかった特別管理産業廃棄物を今後運搬することを予定しており、担当従事者に対し、危険性または有害性を理解させるため、関係講習会への参加および社内研修の充実を図り、担当従事者への災害・健康被害を排除していきます。

年度	1人当たり年間労働時間(時間)	平均労働者数(人)	総労働時間(時間)	死傷者数(人)	類別死傷災害発生状況
2012	1,944	113	219,672	2	その他:2件
2013	1,944	121	235,224	2	はさまれ巻き込まれ:2件
2014	1,968	133	261,744	6	転倒:2件/交通事故:2件/切れ・こすれ:1件/その他:1件
2015	2,052	135	277,062	0	なし
2016	1,960	145	284,200	4	転倒:1件/切れ・こすれ:1件/交通事故:2件



無事故表彰者数

当社では1年間無事故(交通事故/車両故障/顧客トラブル/労働災害)を達成した対象社員に毎年表彰、5年間・10年間無事故を達成した対象社員には『特別優良運転者』として表彰と褒賞を行っています。2016年度は、5年間無事故表彰者が5名、10年間無事故表彰者が3名となりました。特別優良運転者から日頃の無事故のコツを発表してもらい、一人でも多く表彰されることが社員の総意となっています。

また、予防安全の観点により、自社事業用車両全車にデジタルタコグラフとドライブレコーダーを搭載し、各運転者への運転指導およびヒヤリハットの貴重な情報として役立てています。

年度	本社		秋津		東大和		町田		合計		
	該当者(人)	総数(人)	割合(%)								
2013	15	17	27	34	17	18	11	13	70	82	85%
2014	14	17	31	32	16	18	14	15	75	82	91%
2015	16	18	38	39	22	23	16	17	92	97	95%
2016	14	17	33	36	21	24	14	16	82	93	88%

教育訓練

年に1回、安心安全に作業を行うための社内教育訓練を実施しています。

「PCB廃棄物基礎研修会」と題し、実際の作業風景の写真や法律知識などを座学で学びました。参加人数は部課の枠を超えて11名となり、積極的な議論が交わされました。

また同日、低濃度PCB廃棄物収集運搬の本格化に伴い、実際に資格取得者を対象とし、ユニック車の操作を行うなど、より現場の作業に即した教育内容の充実を図りました。

さらに昨年度には、中間貯蔵・環境安全事業株式会社ならびに産業廃棄物適正処理推進センターが主催する「廃安定器の適正処理推進に関する研修会」に係る第2ステップを修了し、公的な機関に認められた選別事業者として、さらに多くのお問い合わせをいただけるようになりました。

有害な廃棄物だからこそ、より安心して作業を依頼できるプロフェッショナル集団として、従事者への教育を徹底してまいります。



安全衛生管理

実際の現場作業での事故予防対策の徹底と、作業従事者が安心できる環境づくりに関して、重点的に管理を行っています。

廃安定器分別調査や低濃度PCB廃棄物の収集運搬作業開始前には、KY(危険予知)活動の読み合わせを徹底し、事前に注意喚起を促しています。現在までの事故発生件数は0件となっています。

またPCBの漏えい及び飛散を防止するため、ブルーシートで確実に養生を行い、カラーコーンで適切かつ安全な作業範囲を確保する等の対策を実施しています。

PCB廃棄物を取扱う従事者に対しては、特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者の資格を有する者のみ従事させることを基本とし、高い作業品質を保っています。

その他、従事者のPCB暴露防止のため、場面に応じた適切な服装の着用や、PCB廃棄物を扱う現場に多く携わっている従事者に関しては、専門機関による血中PCB濃度の測定を実施し、作業従事者のケアにも力を入れています。



通常の作業時



漏洩や分解・解体作業を伴う場合



CS(顧客満足) お客様視点に立った質の高いサービスの提供

適材適所のLED照明のご提案

当社は、照明・空調設備の更新のご提案を通して、お客様の省エネ・環境活動をサポートさせていただいています。また、助成金や導入時のポイントなどをメルマガやセミナーにて提供しております。今期は、これまで以上に“適材適所のLED照明”のご提案に力を入れました。特に工場・施設・倉庫では、高温になったり、防水防塵対策が必要となるため、その際はタフなLED照明をご提案しています。青梅市の株式会社エコワスプラント様はその代表的な事例です。岩崎電気の納入施設集にも掲載され、「工場内がとても明るくなった」と、従業員の皆様にも、大変喜んでいただきました。

今後は、すでにご導入いただいているお客様の声を再度認識するため、“お客様インタビュー企画”を展開させる予定です。



株式会社エコワスプラント

クール・ネット東京主催 中小規模事業所向け「第9回 省エネセミナー」

2016年11月24日(木)科学技術館サイエンスホールにて、クール・ネット東京(東京都地球温暖化防止活動推進センター)主催の「第9回 省エネセミナー～活用しないともったいない! 省エネ補助金～」が開催され、当社佐々木が講師として講演を行いました。立川市の省エネ補助金活用事例として、株式会社三信様のLED照明更新の取り組みをご紹介させていただきました。申し込みが定員の410名に達し、中小規模事業所の皆様の関心の高さが窺われるセミナーとなりました。

今後も各種セミナー等を通じて、省エネの取り組みメリットを発信してまいります。



環境 未来の地球に持続可能な環境を創る企業



当社ではISO14001の認証を取得し、環境マネジメントの継続的改善を図っています。第57期では、3つの環境目的に対して、各部・課の目標を定め改善に取り組みました。

第57期 環境目的目標

目的	目標	実績	評価
当り前の継続	<環境保全事業部> ①作業品質の向上 ②地域貢献の拡大 ③相手の立場に立つ思考で行動する	資源再生課事故ゼロ達成 地域貢献活動:7回	○
新たな環境関連サービスの提供・顧客及び社会に対する啓発活動の実施	<営業課> ①既存物件の継続的受注(死守)と売上の拡大 ②新規受注に向けて営業活動 ③競争力の強化及び社員の育成・指導強化 <コンサルティング課> ■省エネ照明 ①新規顧客の獲得 ②既存顧客のフォロー・再受注 ③組織体制の強化 ■コンサルティング ①売上・粗利目標の達成 ②元請け案件取組強化 ③知識・スキルアップ ■PCB ①売上目標の達成 ②“営業量”を増やし、顧客と接触する機会を積極的につくり、“営業能力”を上げ受注率をUPする ③社内外で作業に従事できる者を育て業務を拡大する <総合建物管理課> ①定期業務の継続的受注と売上の拡大 ②省エネ照明工事受注への体制確立 ③委託業務作業受注への体制確立 ④技術者の育成知識技術の習得(人員配置) ⑤新規事業への取り組み	<営業課> LED照明案件の受注 <コンサルティング課> メルマガジンの継続的配信 PCB廃棄物に関する講習会受講・資格取得 <総合建物管理課> 専門スタッフの増員	○
環境管理活動・地域貢献活動に取り組める体制の構築	<管理部> ①関連法規対応 ②就業規則全面改訂・各種諸手当の検討 ③社内サポートの充実	社内報の継続的発行 就業規則の見直し	△

自己評価(マネジメントレビューより)
◎:達成 ○:おおむね達成 △:努力の余地あり

EMSと実務の一体化

第57期に実施した改善策 審査員から“グッドポイント”

過去3年間の第三者審査結果

実施日	重大な不適合	軽微な不適合	改善の機会	よい点(グッドポイント)
2016年09月6日 第8回 サーベイランス審査	なし	1件	13件	5件
2015年09月15日 第7回 サーベイランス審査	なし	なし	14件	3件
2014年07月16日 ~07月17日 第3回 更新審査	なし	1件	10件	2件

- 低濃度PCB廃棄物事業開始に対して、有効な内部監査が実施されている。
- グリストラップ作業車であるバキューム車からの臭気に対する過去の苦情に対して、効果的な設備投資を行ったことが確認された。
- 「KATO NEWS」や「CSR報告書」など、内部外部に対する情報発信ツールが有効に活用されている。
- 新規に事業プロセスに沿った環境目的が設定され、2015年版改正規格の一部に使用できる良い取り組みであった。
- 現場審査にて、日常のコミュニケーションや、自覚教育が有効と判断された。



地域貢献 地域に根差したCSR活動

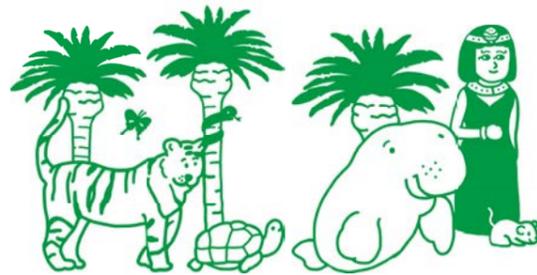
環境教育

昨年に引き続き、きよせ幼稚園にて「ごみ収集車出前授業」を実施させていただきました。

今年で5回目の開催となった今回は、紙芝居とパッカー車への積み込み体験を行いました。

最初から最後まで一生懸命取り組んでいる園児さん達の姿から、私たちもいつも元気をもらっています。

小さいころから身近な環境について考えるきっかけとなるよう、これからも環境教育の活動を続けてまいります。



地元中学生の職場体験

加藤商事では東村山第二中学校の職場体験を受入れており、エコ工場の選別作業を2日間体験してもらっています。

この仕事の人々の生活にどのように役立っているかを学んでもらい、働くことの大切さや素晴らしさを実感してもらいたいと考えています。

体験に参加した中学生からは、「プラスチックのリサイクルについては知っていたが、中間処理工場(手選別作業、異物を取り除く作業)については知らなかった」との声を多くいただきます。また、「今まで以上にごみの分別を意識するようになった」との感想もありました。

今後も継続してこの取り組みを行ってまいります。



工場見学会

エコ工場では、市民の方の工場見学も受け付けております。平成28年11月には、約60名の団体様にご見学いただきました。

参加者は市内にお住まいの方が多く、普段出している容器包装プラスチックとペットボトルがどう分別されているのか興味深く見学されていました。

容器包装プラスチックとペットボトル以外にもいろいろなごみが混じって出されていることに驚かれていました。

工場見学を通して、ごみ分別やその現状に関心を持つきっかけを提供してまいります。



▶ 工場見学をご希望の方はお電話 (042-392-1001) にてお申込みください。

東村山市リサイクルフェア

平成28年10月に開催された東村山市リサイクルフェアにおいて、来場した小学生から環境標語の募集を行いました。

東村山市環境整備事業協同組合による選考の結果、最優秀作品が決まりました。

最優秀作品

「リサイクル 一人の意識で 明るい未来」

最優秀賞を受賞した標語は、ステッカーを作成しパッカー車に掲示されます。

市内をまわるパッカー車に掲示することで、多くの方の目に触れ、リサイクルを意識する機会につながればと考えております。



ステッカーが貼られた ごみ収集車

いつか必ずやってくる災害、今私たちにできること

弊社代表の加藤が理事長を務める三多摩清掃事業協同組合で、全組合員を対象とした事業継続計画(BCP: Business Continuity Plan)策定講習会を開催しました。

講習会では、BCP計画についての説明があった後、実際に参加者がそれぞれの会社のBCPを策定しました。

日頃から対応を社内で話し合うことが、災害が発生したときの初動につながると実感しました。

また、収集やエコ工場が早期復旧するためには、当社のみならず、他の組合員の対応・協力が必要となります。市民生活への影響を最小限に抑えることができるように、周りの企業にも声をかけながら、取り組みを進めていきたいと考えています。

また、当社では、社員全員の安否確認のため、災害時に安否確認メールを一斉送信するシステムの導入を予定しており、それをういた防災訓練を計画しています。各現場の責任者と協力して災害が起きた際にスムーズに対応がとれるよう、体制を整えてまいります。

社内で教育・訓練に加え、このような組合の活動も積極的に行ってまいります。





エネルギーデータ

当社の事業活動に伴い、工場・事務所では電力を、収集運搬車両の燃料として軽油を、洗車や工場清掃において水を使用しています。2016年度は車両台数増加に伴う洗車回数の増加や、工場内の清掃強化により、水の使用量が増加したと考えられます。



KATO太陽光レポート

昨年度より稼働を始めた茨城県銚田市2MWのメガソーラーをはじめ、各発電所では順調に発電、売電をしています。

太陽光発電システム概要



銚田市秋山発電所の航空写真

設置場所	茨城県銚田市秋山
定格出力	2MW
売電単価(税抜)	40円

2016年度の発電量
約266万kwh

CO₂削減量
約1,345t-CO₂/kg

筑西市成井発電所



2016年度の発電量
約62,950kWh

CO₂削減量
約32t-CO₂/kg

東村山本社発電所



2016年度の発電量
約24,000kWh

CO₂削減量
約12t-CO₂/kg

赤坂営業所発電所



2016年度の発電量
約2,100kWh

CO₂削減量
約1t-CO₂/kg

算出方法: 参考「太陽光ビジネス『太陽光発電でどれくらいのCO₂を削減できますか?』」<http://taiyo-biz.jp/question/others/co2.php>

CSR調達方針

加藤商事は、関係会社様と共にCSR経営を推進していくため、CSR調達方針を定めました。

CSR調達基本方針

校正で公平な取引の実現

オープンな取引の機会を提供し、国内外の法令・法規を遵守し、企業倫理に基づいた公平な取引を行う。

サービスの向上

市場のニーズに応えるため、質・コスト・安全性を追求する。

環境への配慮

環境への影響を十分配慮する。

パートナーとの信頼構築

パートナーとの相互の信頼関係を築くため、誠実に取り組む。また、調達活動を通じて得た情報は厳密に管理する。



お取引先に対する調達基準

パートナーとの信頼構築

法令・法規を遵守し、倫理観に基づいた誠実な企業活動を行う。

人権の尊重、労働安全衛生の取り組み

人権を尊重し、人権侵害行為や非人道的行為、不当な差別を行わない。従業員の安全と健康のため、安全衛生管理を徹底し、快適な職場環境を整備する。

環境への配慮

環境への負荷を軽減するための取り組みを行う。

商品・サービスの質と安全性の向上

優れた商品・サービスを安全に適正な価格で提供する。

健全な企業活動の継続

相互の信頼関係構築に努め、誠実に経営を行う。

